

●かく乳母の雇入をなすには並大抵のものではありませぬ。かようにして乳母を雇ひ入れまして、さて雇入れたからには、之れを家族の一人として好く取扱はねばなりません。

小兒の感化

桑田敏子

光子さんは今年四才で入らツしやいました、ついで近いものですから遊びにお出でるので、私といは大の仲好で有ります、私この頃遊びに参りましたら、茶の間には光子さんたゞ一人で入らツしやいました、私を見るやすぐ、お行儀を正してお遊びを遊はすので、そのマア、かはゆい顔と申しては、私とても筆にはうつつされませぬ、そし

て母さまがお出に成りますと母さまの下へ、ちやんとすはつておいでるので、其の様子は五六才位で。面白い事を時々おツしやつては皆様を、大笑遊はすのです、坊ちやまは七才で、お出でましたのが、やつぱりよいお子でをして活潑で入らツしやります、母さまのお出でた時には、お二人で争などはなさらぬそう、實に感じ入りますこれも母さまが平素の教育のよいからで、一つは母さまが御老人方をはじめ、皆様へたいしての行爲によるので。

一家族不和なる家庭は、人生不幸の極で有りますかゝる家庭に在る人は、顔容正しからずで、言語をはじめ、なす事すること皆々片意地にして、お子方は強情な、そして無邪氣なかはゆい處がないのですそればかりでなく、來客にまで不快の感

を起こさずして有ります、世にはかゝる家庭かめ
 づらしやないのですが、ある婦人は申されました
 一家は主婦の心一つでいかようともなるものと
 實際をうでしよう、してその奥様はとにかく、老人
 方はどんなに味氣ない世と罪のない世までをかこ
 つのでしよう。……それと反して、平和圓滿なる
 家庭はたえず春風が吹いて、他人までが暖かに感
 じられます其樂しさはとて私の拙筆には及びま
 せぬが、皆様にはとくに御承知の事で、そして讀
 者諸姉にはさぞ御實行の事と、私よろこびま
 す。

私その日のくるゝまで光子さんと遊びました
 また〜歸りたくはない程で有りました、實によ
 いお子はよい家庭でなくては出来ません、そして
 よい家庭は主婦の心一つで有ります、で婦人た

二十六
 る以上は婦人たる務を一時も忽諸になさらず、た
 い一時の感情によりて八ッあたりなどなること
 は、以ての外で實に可笑しい行爲では有りま
 せぬか、吾子のよきを望みましたら、婦人の婦人
 たる道母の母たる務を何より大切に致さなければ
 成りません事と存じまして。こそ。

富士ちやんの日記

(明治三十四年十一月生)

會員 某女

明治三十五年七月二十六日。今日は丁度生後九ヶ
 月なり。「エンコ」オカヤリなどは早くから出来
 れど、未だ這へず、少しく遅き方ならんか。

二十八日。いつもの通りエンコをして、鼻をスー
 ン鳴らしながら遊ぶ。日暮頃母に抱かれ、唐紙